

# 教室案内

## 2020



頑張れる場所が、ここにある。

個別指導教室セカンド・キャンパス

# 伸ばす指導には、根拠があります。

～小さな学習塾ですが、学校・大手塾にできないことをします～

## 地域の学校の定期テストに完全対応

学校での授業を大切にし、  
その進み方を常に考えて指導をすること  
私たちはこれを基本姿勢とした塾です。  
10年以上にわたり、  
学校ごと・先生ごとの授業進度・テスト問題など  
膨大なデータを蓄積。  
地域の学校をどこよりも知っているから、  
的確なアドバイスができます。

ここにしかない、1教場の塾だからできる  
「学校対応度No.1」の指導をします。



教室責任者  
高見 弘法

## 人が人を教える。

教室卒業生・京大生を中心としたスタッフと塾長との協力体制で、  
一人ひとりを観察しながら、学習のしかたや理解度を確かめて、  
対話による指導をしています。

安易な映像授業に頼ったり、一斉指導を行うのではなく、一人  
ずつを人の手で教えることは一見非効率に見えますが、意欲を持  
続させつつ力を確実に定着させるために必要なことだと考えてい  
ます。



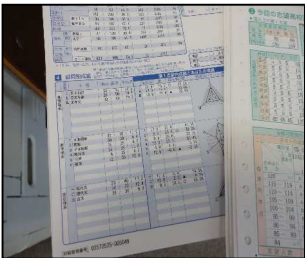
無理やりに勉強させることは一切していません。しかし、指導者が一人一人に直接向き合うこと、学年・学校の違う生徒が同じ場所で一生懸命頑張っている姿に接すること、これらの「人」が生み出す空間の力で、当初なかなか自分から積極的に学習に向かえなかった子ども達も「もっと塾に残って勉強してもいいですか?」、「宿題のプリントを下さい!」と自分の意思で言い、自ら勉強に取り組むように変容していきます。

# 確かな進学情報。

京都各地の有力塾と連携して、幅広く入試情報を収集しているほか、塾長・スタッフ自らが地域の様々な学校に足を運んで得た情報をもとに進学アドバイスを行います。  
地域の高校の先生をお招きして、少人数でじっくり話を聞くことができる進学説明会もあります。大学受験においても、河合塾の全統模試を塾内で実施し、全国レベルの入試情報を提供できます。勉強だけでなく、進路・進学について知りたいことがわかる場・それによってモチベーションを一層高められる場であることをめざします。



2013年度は私立高校（大谷高）公立高校（鴨沂高）から先生にお越し頂き、入試情報や学校の取り組みについて説明していただきました。  
生徒・保護者の方からも、聞きたいことを直接気軽に聞ける場としてご好評を頂いています。

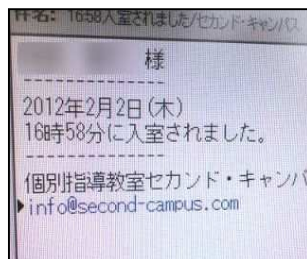


塾内で、各種の模試を実施しています。  
大学受験にも対応しています。

# 柔軟なスケジュール設定。

面談にて必要教科・時間数を決定し、ご都合に応じて受講する曜日や時間帯を決めていただく方式です。また、教室が開いている時間帯（基本16時～22時、詳細はHPにて）には自由に自習ができるので、やる気次第でとことん活用することができます。

教室での学習時間や学習内容は、毎月発送する詳細なレポートにより確認でき、常に最適な方向で勉強を進めていくことができます。



学習時間や学習内容を記載したレポートを毎月ご家庭にお届けしています。  
教室への入室時には、ご希望に応じ保護者様へのメール配信をいたします。

# 受講システムについて

教室での学習は、通常学習と自主学習の2本の柱で成立しています。

## ①通常学習：

あらかじめ設定した曜日・時間帯で、個別のカリキュラムに沿って受講します。この時間帯については、1人1人に十分な指導ができるよう座席・講師を準備しています。

週あたりの回数・受講時間は次の通りです。

	週1回	週2回	週3回
小学生	80分 (80分×1)	160分 (80分×2)	240分 (80分×3)
中学生以上	120分 (120分×1)	240分 (120分×2)	360分 (120分×3)

## ②自主学習：

決めた曜日・時間以外でも、可能な限り教室に来て学習することを勧めています。座席や指導できる内容に限りがありますが、①の受講を時間通り消化している人、テスト前など必要度が高い人を優先して指導します。

### ■授業日・時間の変更について■

部活動や家庭の事情などで、やむなく設定した日に受講できない場合には、振り替え希望日を受講日の3日前までにお知らせください。座席数などの都合上、希望の日に受講できない場合がありますが、なにとぞご了承ください。

当日急に欠席された場合、原則として振り替え日時を設定することはできません。(この場合でも、②の自主学習を活用することで、学習進度を十分に取り戻すことができます)

以下で、具体的な受講のイメージをご覧ください。

■通常、教室は17時～22時まで開いています。最初に面談にて、基本となる受講日と時間帯を設定します。

■例えば 週2回 月・木 19時～21時のように決めます。

■この時間帯に確実に勉強を続けていくことが学力アップの土台となります。

■それ以外の時間帯でも教室は開いていますから、自由に勉強しに来ることができます。

■指導は通常受講日の生徒が優先ですが、勉強の様子を常に見ていますし、簡単な質問などにも答えます。

	16	17	18	19	20	21	22	23
月					月・木 7時～9時			
火					基本となる受講日・時間帯を登録します！			
水								
木					月・木 7時～9時			
金								
土								

	16	17	18	19	20	21	22	23
月					月・木 7時～9時			
火								
水								
木					月・木 7時～9時			
金								
土								

教室に来て  
学習ができる  
時間帯  
(※週により異なります。  
図の範囲は一例です)

■自分で自主学習日を設定して、積極的に勉強しに来る人も多いです。

■真剣に勉強している人達のいる空間でモチベーションを最大限に上げて取り組むことができます。

■テスト前や受験直前期には多くの方が、毎日のようにぎっしり勉強しに来ます。

■座席と真剣に勉強する意志のある限りほとんどん付き合います。追加料金はありません。

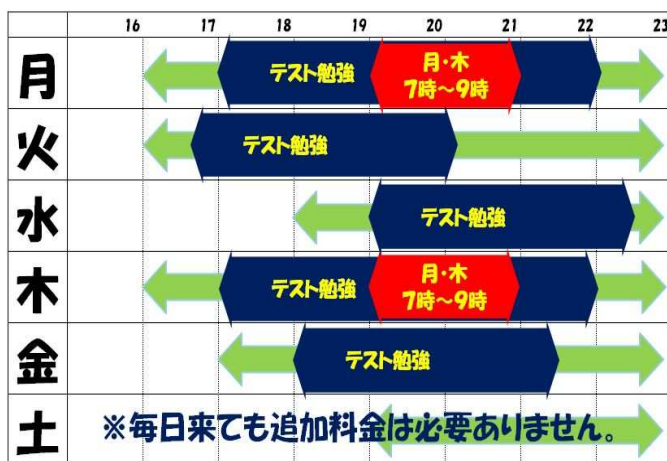
■部活の試合などで都合の悪い日は事前に申し出てもらえれば振替を無料で行います。

■急に来られなくなった場合などには、講師・座席が確保されていますので原則として振替はできませんが・・・

■替わりに来る日をご相談下さい。自主学習によって、取り戻すことができます。

■「今日急に行けなくなってしまったのですが…」「それなら金曜日の8時からなら空いているから補講が出来ますよ！」というように、こちらから空いた日を提案できる場合もあります。

■塾長が全員を把握している小さな教室だからこそ、柔軟な対応が可能です。



# 体験受講のてびき

## ■セカンド・キャンパスでの体験受講の位置づけ

体験受講は、入塾申し込みの前に、教室の様子・授業の様子を皆さんにしっかり見て確かめていただくために行っています。また、私たち講師にとっても、1人1人の理解度・目標・性格などを把握して、「何をどのように勉強すれば最も効果的に力がつくか」を考え、判断するための期間と位置づけています。

どのように学習を進めれば一番いいか、という方針が決まってから、正式に塾での勉強が始まります。それまでの間、私たち講師は、最終的に入塾される、されないに関わらず「効果的に学力をつけ、1人1人に最も合った勉強方法を見つける」ことをめざして全力をつくします。

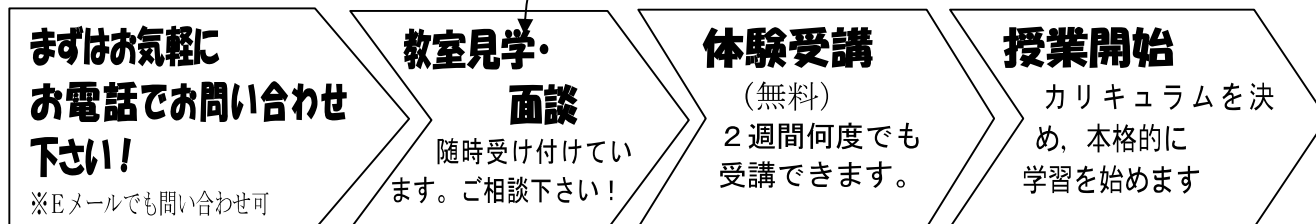
皆さんもどうか積極的に体験受講を受け、この期間を有意義なものにしてください。

## ■受講にあたっての注意事項

1. 自転車は、建物手前の駐輪スペースに、通路をふさがないように整理して止めて下さい。自転車がなくて止めにくいときは、お手数ですが教室まで知らせて下さい。
2. 携帯電話は、教室内では鳴らないようにして、カバンかポケットの中に入れておくようにしてください。学習スペースでの使用は禁止です。
3. 講師は各座席を回りますから、自席に来たときに、わからないことはどんどん聞いてください。
4. 学習スペース奥の棚に、計算用紙が入った かご があります。勉強中必要なときは、自由に使って下さい。
5. 応接スペース（ソファとテーブル）は、来客や面談の方がおられないときは、勉強の合間に休憩する場所として使って下さい。（集中とリラックスの切り替えが大切です）ただし、友達同士で談笑したり、いつまでもダラダラとしているのは、学習の効率を下げますし他の人の迷惑になりますからやめましょう。
6. 冷蔵庫の飲み物は、各自で自由に飲んで下さい。扉の開け閉めは確実に、また、使ったコップは流しに片づけておいてください。
7. トイレは奥にあります。

■正式受講開始までの流れ

今日はここです！



- ①「体験受講生登録票」を記入してもらい、最初の受講日を決めます。

【初回受講日 月 日 ( ) : ~ : 】

- ②受講する日時に教室に来て下さい。その時に次回の受講日を決めます。

【持ち物】筆記用具，プリント類を持ち帰るためのカバン，  
(面談時に指定があった場合のみ)教材・教科書類

※何らかの都合で決まった日に来られなくなった場合、代替りの日時を決めますので、開始時刻の1時間前までに教室にご連絡下さい。

連絡先 075-711-0399 (電話・FAX)

090-9275-2377 (塾長・高見の携帯)

[info@second-campus.com](mailto:info@second-campus.com) (e-mail)

e-mailは教室サイト <https://www.second-campus.com/> から送ることができます。

- ③約2週間受講していただき、学習方針が固まった時点で、教室から連絡し、学習状況と今後の方針についてご報告いたします。

- ④入塾の可否をご判断いただき、入塾される場合は「受講生登録票」(入塾届を兼ねます)をご提出ください。この時点で正式入塾となります。

※これ以降受講料が発生します。入塾を見合わせられる場合、受講料はいただきませんが、プリント印刷実費として300円程度頂く場合があります。

## 2020年度 標準受講料

### 標準受講料（月額・税別）

学年	1回当り 受講時間	週1回	週2回	週3回
小3～小6	80分	9,000円	17,000円	25,000円
中1～高3	120分	16,000円	28,000円	37,000円

- 入会金はありません。
- 正式入塾の前に、体験受講期間を設定させていただきます。
- 受講された月の翌月10日頃に、週あたり受講回数に応じた授業料・プリント印刷費・教材費を計算してお知らせいたします。
- プリント印刷費は受講内容により異なりますが、標準的なカリキュラムで受講された場合の月額は約400円です。
- 受講回数による教科の限定はしていません。定期テスト・入試に必要な全ての教科を学習できます。

### 《資料》過去の費用例 ※消費税率は当時のものです。

**例1**・中2生で週1回受講。定期テスト前には毎日通って勉強する。通常の学習は学校の副教材や教室のプリントを中心として、塾用の教材購入はしない。模試を年3回受験。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講料	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
印刷費実費	-	200	200	200	300	-	300	400	-	200	400	200
教材費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
模試受験料	-	-	-	2,700	-	-	2,700	-	-	-	2,700	-
諸費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消費税	1,280	1,296	1,296	1,512	1,304	1,280	1,520	1,312	1,280	1,296	1,528	1,296
総額	17,280	17,496	17,496	20,412	17,604	17,280	20,520	17,712	17,280	17,496	20,628	17,496
4月～3月のお支払い総額											218,700	

**例2**・中3生で公立高校受験をめざし週2回受講。定期テスト前には毎日、部活終了後の夏以降はほぼ毎日教室に来て自主学習をする。4月に希望により教材（英・数のワーク2冊）を購入して使用。8月に強化合宿（2泊3日）に参加。9月以降に模試を5回受験。3月に志望校合格。3月分受講料(25%)はキャンペーンにより免除。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講料	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	7,000
印刷費実費	200	100	300	200	300	200	300	400	400	700	600	-
教材費	1,960	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
模試受験料	-	-	-	-	-	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	-	-
諸費用	-	-	-	-	14,000	-	-	-	-	-	-	-7,000
消費税	2,412	2,248	2,264	2,256	3,384	2,552	2,560	2,568	2,568	2,592	2,288	-
総額	32,572	30,348	30,564	30,456	45,684	34,452	34,560	34,668	34,668	34,992	30,888	-
4月～3月のお支払い総額											373,852	



# 入室手続きとお支払い方法についてのご説明

新規入室される受講生の方には、下記の書類をご提出いただいております。誠にお手数をお掛け致しますが、よろしくお願い申し上げます。

○受講生登録票

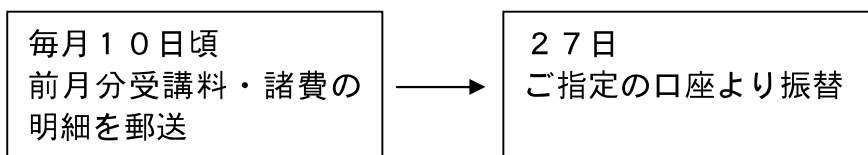
○預金口座振替依頼書（3枚綴りの1・2枚目のみをご提出ください）

## ■預金口座振替によるお支払いについて

当教室では、お子様を通じて現金の受け渡しを行うことによる安全上の心配を解消し、事務処理を効率化するため、原則として預金口座振替による受講料・諸費のお支払いをお願いしております。

最初に「預金口座振替依頼書」によって全国の銀行・信用金庫・郵便局より口座をご指定いただき、毎月27日（金融機関休業日の場合は翌営業日）に自動引き落とし致します。口座の登録・振込みに際しての費用は一切かかりません。

なお、自動振替に関する業務は明治安田システム・テクノロジー株式会社に委託し、口座名等の個人情報については厳重に管理しております。何卒ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



## ■銀行振込・教室へのご持参によるお支払いについて

受講料明細発行の時点で、口座振替依頼書の処理が完了していない方につきましては、銀行振込（振込先口座は明細に記載しております）または教室へのご持参によってお支払いいただきます。

**銀行振込の場合**→その月の25日までにお振込みください。なお、領収証は入金時に各金融機関が発行するものにて代えさせていただきます。恐縮ですが、振込手数料につきましてはご負担をお願い致します。

**直接ご持参いただく場合**→その月の25日までにお支払いください。教室より領収証を発行いたしますので、確実に保管いただきますようお願い致します。

## ※受講を途中で休止または終了される場合のお手続きについて

□何らかの事情で受講を休止・終了される場合、保護者様より別紙「受講休止・終了届」を教室までご提出いただきますようお願いいたします。

□下表の通り、10日ごとに受け付けております。勝手ではございますが、講師手配・教室の運営上、何卒ご了承いただきますようお願い致します。

（例）7月いっぱいを受講をやめたい場合

→ 7月20日までに書類をご提出ください。

21日以降になりますと8月分受講料（30%）がかかります。

（この場合、現実の受講の有無にかかわらず申し受けます）

受講休止・終了届の提出期間	受講可能期間	受講料
前月の20日まで	月末まで	不要
前月の21日～末日	当月の10日まで	月額30%
当月の1日～10日	当月の20日まで	月額70%

□受験学年の方で、進路決定・卒業に伴って受講終了する場合には扱いが別になります。当該の方には別途ご案内させていただきます。

□教室への連絡なく、3ヶ月以上にわたって受講をしていない場合には、受講継続の意思が無いものとみなして、3ヶ月目以降の請求を停止いたします。この場合、受講のなかった2ヶ月分の受講料については規定通り申し受け、減額・返金には一切応じかねますので、何卒ご了承ください。

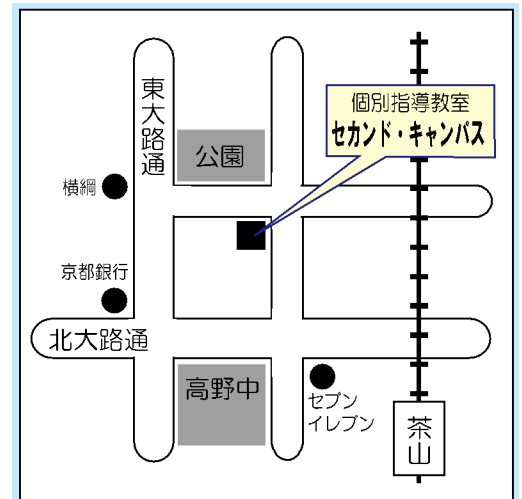
## 教室の様子や最新情報を常に発信しています



効果的な勉強方法、最新の入試情報などをリアルタイムにお伝えする教室通信を平日はほぼ毎日発行しています。塾生・ご家庭に配布していますが、教室 Web サイト上でも公開をしています。教室の様子や地域の進学事情等を知っていただく一助として、ご覧いただければ幸いです。

## 教室へのアクセス

- 高野交差点を北へ、ラーメン「横綱」さん向かいの公園南側の道を東に入ってすぐの所にあります。
- お車でお越しの際は、公園北側の道を東に入られると便利です（南側の道が西行一方通行のため）。
- 北大路通りからは、セブンイレブン向かいの道を北に入ってすぐです。  
（叡電茶山駅からは歩いて約5分です）



〒606-8181 京都市左京区一乗寺地蔵本町 26-1  
個別指導教室セカンド・キャンパス  
TEL/FAX 075-711-0399 <https://www.second-campus.com/>

### いろいろあります。教室への連絡方法

教室電話:075-711-0399 高見の携帯:090-9275-2377

◎ホームページ



■教室 Web サイト  
やる気発生装置は過去の分も公開しています。

◎メール



■メールアドレス  
ご連絡はメールでも受けつけています。

◎twitter



■教室公式アカウント  
開室時間やイベントの予定などを配信します。  
@secondcampus

◎facebook



■教室 facebook  
教室からのお知らせを発信。連絡も出来ます。

◎LINE



■教室公式アカウント  
開室時間やイベントの予定などを配信します。  
@rtp6746s

## 「塾ジャーナル」誌の取材を受け掲載されました



業界雑誌「塾ジャーナル」にて、当塾を取材していただき

2019年9月号の記事にて紹介されました。

「リラックススペースを設置してやる気を支える」

「交流分析理論にもとづき、観察や言葉かけを行う」

「学校のリサーチを通じ、地域に密着した指導をする」

などの点で取り組みをご紹介いただきました。

(2013年1月号に続き2回めの掲載です)